

平成30年2月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,605,278	185,578	2,150,855	82.6%	454,423		
1. 営業収益	2,271,430	181,238	2,106,487	92.7%	164,943		
1. 給水収益	2,243,160	180,825	2,078,327	92.7%	164,833		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	28,270	412	28,161	99.6%	110		
2. 営業外収益	333,352	4,340	44,036	13.2%	289,316		
3. 特別利益	496		332	66.9%	164		
9. 水道事業費用	2,587,666	148,814	1,035,170	40.0%	1,552,496	1,141,762	44.1%
1. 営業費用	2,284,871	104,762	876,381	38.4%	1,408,490	982,973	43.0%
1. 原水及び浄水費	483,742	40,007	332,245	68.7%	151,497	369,607	76.4%
2. 配水費	287,204	19,773	221,018	77.0%	66,186	242,046	84.3%
3. 給水費	114,923	7,672	78,559	68.4%	36,364	81,950	71.3%
4. 受託工事費							
5. 業務費	159,548	12,817	131,833	82.6%	27,715	156,608	98.2%
6. 総係費	162,521	24,493	112,726	69.4%	49,795	132,761	81.7%
8. 減価償却費	1,026,833				1,026,833		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	280,990	44,036	158,497	56.4%	122,493	158,497	56.4%
3. 特別損失	1,805	17	292	16.2%	1,513	292	16.2%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入 (繰越含む)	1,323,744	389	13,746	1.0%	1,309,998		
1. 企業債	710,200				710,200		
2. 負担金・補償金	268,147		2,287	0.9%	265,860		
3. 補助金	92,761				92,761		
4. 出資金	242,214				242,214		
5. 加入金	10,422	389	11,459	109.9%	△ 1,037		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出 (繰越含む)	2,498,191	206,662	820,293	32.8%	1,677,898	2,200,013	88.1%
1. 建設改良費	1,815,943	63,004	340,399	18.7%	1,475,544	1,720,119	94.7%
1. 取水施設整備費	668,330		65	0.0%	668,265	658,635	98.5%
2. 導水施設整備費	17,820				17,820	14,861	83.4%
3. 浄水施設整備費	173,018		14,494	8.4%	158,524	172,163	99.5%
4. 送水施設整備費	82,703		80,408	97.2%	2,295	80,408	97.2%
5. 配給水施設整備費	870,292	63,004	245,433	28.2%	624,859	791,300	90.9%
6. 消防設備整備費	3,780				3,780	2,753	72.8%
2. 企業債償還金	682,248	143,658	479,893	70.3%	202,355	479,893	70.3%
12. たな卸し資産購入限度額	47,324	3,549	17,006	35.9%	30,318	17,006	35.9%
①有収水量	7,914,100	626,511	7,254,483	91.7%	659,617		
②供給単価	283.44	288.62	286.49	101.1%	△ 3.05		
③給水原価	326.74	237.50	142.65	43.7%	184.09		
人件費	226,954	14,747	196,504	86.6%	30,450		
1. 収益的収支	185,354	11,975	158,246	85.4%	27,108		
1. 職員給与費	184,104	11,946	157,202	85.4%	26,902		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	1,250	29	1,043	83.4%	207		
2. 資本的収支	41,600	2,772	38,259	92.0%	3,341		
* 職員給与費	225,704	14,718	195,461	86.6%	30,243		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.2%	6.6%	7.6%				
2. 全職員	10.1%	8.1%	9.4%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	44,943,525	45,261,531	318,006	
*減価償却累計額	18,794,440	18,794,440		
B. 流動資産	3,292,328	3,665,815	373,487	
1. 現金預金	2,594,861	2,777,903	183,042	
2. 未収金	576,010	201,016	△ 374,994	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,572	32,556	△ 1,016	
5. 前払費用・前払金	87,886	578,820	490,934	工事前払金等
6. その他		75,520	75,520	仮払消費税
D. 水道事業費用		983,303	983,303	
1. 営業費用		824,536	824,536	
2. 営業外費用		158,497	158,497	
3. 特別損失		271	271	
1. 借方合計=A+B+D	51,805,091	53,479,887	1,674,796	
E. 固定負債	11,808,703	11,808,703		
1. 企業債	11,541,269	11,541,269		
2. 引当金	267,434	267,434		
F. 流動負債	1,060,868	729,048	△ 331,820	
1. 企業債	678,746	198,853	△ 479,893	H29年度償還元金
2. 未払金	219,482	221,490	2,008	
3. 前受金	148,062	148,011	△ 51	
4. 引当金	14,186		△ 14,186	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	392	160,694	160,302	
うち仮受消費税		157,985	157,985	
G. 繰延収益	9,746,416	9,759,314	12,897	
1. 長期前受金	9,746,416	9,759,314	12,897	償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,569,237	3,569,237		
H. 資本金	10,178,427	10,371,264	192,837	
1. 自己資本金	10,178,427	10,371,264	192,837	・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				= 企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	215,737	22,900	△ 192,837	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	192,837		△ 192,837	
K. 水道事業収益		1,993,719	1,993,719	
1. 営業収益		1,952,537	1,952,537	
2. 営業外収益		40,866	40,866	
3. 特別利益		316	316	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	51,805,091	53,479,887	1,674,796	
a. 供給単価 (円、銭)	265.27	= 給水収益 ÷ 有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	135.51	= 原価算入額 ÷ 有収水量		当月予算
②シミュレーション	271.30	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	74.20%	= 一日平均配水量 ÷ 施設能力		
d. 有収率	85.87%	= 有収水量 ÷ 配水量		
e. 流動比率	502.75%	= 流動資産 ÷ 流動負債		
f. 現金預金比率	381.03%	= 現金預金 ÷ 流動負債		

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成30年2月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,191	335,509	338,900	338,740	△3,391	△3,231
2 調定水量	m ³	622,239	7,207,407	7,242,000	7,235,432	△34,593	△28,025
3 調定料金(税抜)	円	167,430,880	1,924,376,646	1,911,000,000	1,936,150,587	13,376,646	△11,773,941
4 口振加入件数	件	24,942	277,037	-	279,036	-	△1,999

2 給水業務関係

項目	単位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	81,709	-	81,714	△5
6 給水件数	件	30,084	-	30,201	△117
7 開栓処理件数	件	207	2,620	2,752	△132
8 閉栓処理件数	件	171	2,796	2,830	△34
9 給水工事設計審査	件	46	608	654	△46
10 給水工事竣工検査	件	86	789	868	△79
11 経年メーター交換	件	233	4,068	4,092	△24
12 メーター口径変更	件	6	54	51	3
13 月末停止件数	件	8	21	19	2

3 料金徴収関係

項目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	192,112,379 円	90.76 %	194,635,880 円	90.69 %
15 過年度分	4,647,944 円	97.52 %	4,359,273 円	97.75 %
16 全 体 (計)	196,760,323 円	-	198,995,153 円	-

4 給水装置工事指定業者(増減なし)

追町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	17	12	13	9	8	14	7	106	121	227

5 入札・契約

(左:当月 右:累計)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	1/1	93/100	0/0	56/63	0/0	16/16	1/1	6/6	0/0	15/15	0/0	0/0
契約締結	一般	0	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
	指名	0	53	0	25	0	16	0	1	0	11	0
	随契	1	20	0	11	0	0	1	5	0	4	0
合計	1	93	0	56	0	16	1	6	0	15	0	0

※入札中止 当月 0件:累計3件 / 入札不調 当月 0件:累計 7件 / 入札取消 当月 0件:累計 0件 / 未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	25	4	工事
中間検査	28	11	工事
合 計	53	15	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	1月31日	2月 事業打合せ等
事業調整会議	1月31日	第11回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	13日	第11回 行事計画、日程調整等
水道事業連絡会議	14日	第11回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
水道ブースター会議	15日	2月期 広報活動について
給水拠点設置訓練	22日	2月期 追総合支所
経営分析会議	23日	1月分 各種経営分析等
例月出納検査	28日	1月分 例月出納検査
指名委員会	-日	
入札会	8日	1件
緊急メールの発出	-日	漏水12、破損3、取停5、水質4

特記事項

1. 2月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は180,825千円(税込)で、前月期に比べて1,543千円の減で、予算執行率(累計)は92.7%(前年度92.1%)、対前年同月比(累計)では12,716千円の減となっています。営業収益は、手数料収益412千円を含む181,238千円、営業外収益は事務手数料3,790千円を含む4,340千円となりました。

当期の営業費用は148,814千円を執行し、累計額は1,035,170千円、予算執行率(累計)は40.0%(前年度38.9%)となりました。特別損失では放射性物質検査料17千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金389千円を執行し、執行率(累計)は1.3%(前年度4.4%)でした。

支出は、配給水施設整備費に63,004千円を執行し、累計では796,922千円となりなりました。執行率(累計)は36.5%(前年度27.3%)でした。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,051千円、給水袋に2,430千円、コピー用紙に68千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 施設更新計画策定委員会より答申提出

2月13日(火)に登米市水道事業施設更新計画策定委員会より熊谷市長へ答申が提出されました。

人口や給水量の減少が加速していく中で、施設の効率的な再構築や再配置が求められることから、水道事業所では平成27年度に登米市水道事業施設更新計画策定委員会を設置し、今後の施設更新に係る必要事項について3ヶ年にわたり検討を行ってきました。

答申では、基幹施設である保呂羽浄水場の更新について膜ろ過方式の導入が望ましいとしたほか、その他の浄水場についても具体的な統廃合計画の策定が求められました。委員との意見交換も行い、熊谷市長は「保呂羽浄水場の更新は最優先の課題と捉え、しっかりと取り組んでいきたい」と話していました。

水道事業所では、この答申を基に登米市水道事業経営戦略を策定し、計画的な施設更新を行ってまいります。



伊藤委員長から熊谷市長へ



委員との意見交換の様子

(2) 登米市議会定例会2月定期議会が開会

2月2日(金)に平成30年登米市議会定例会2月定期議会が開会されました。水道事業所では「平成29年度登米市水道事業会計補正予算(第3号)」と「平成30年度登米市水道事業会計予算」を提案し、補正予算については2月27日(火)に原案通り可決されました。当初予算については3月の予算特別委員会で審議される予定です。

(3) 総務企画常任委員会

2月9日(金)・23日(金)に総務企画常任委員会が開催されました。9日の委員会では補正予算(第3号)について説明を行ないました。事業費確定によるものが主となり、4条予算では収入・支出ともに約5億円の減、3条予算は事業費減に伴う消費税額の補正となりました。23日(金)の委員会では当初予算並びに経営戦略についての説明を行ないました。経営戦略については、今後の水道事業の10年計画でもあり時間をかけて審議したいということで、今回は概要説明のみとし、改めて総務企画常任委員会を開催し、質疑応答の時間を設けていただくことになりました。

(4) 料金徴収・給水装置管理等業務委託外部評価を実施

2月21日(水)に登米市水道事業料金徴収・給水装置管理等業務委託の外部評価を実施しました。総合評価書の項目ごとに採点いただき、業務状況について概ね良好との評価をいただきました。いただいたご意見を業務に活かし、よりよい住民サービスに努めてまいります。

平成30年 2月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	772,542	9,067,971	9,003,920	9,082,289	64,051	-14,318
総配水量	718,101	8,448,342	8,493,780	8,648,874	-45,438	-200,532
1 有効水量	687,295	7,839,726	7,838,900	7,866,950	826	-27,224
(1)有収水量	626,511	7,254,483	7,288,700	7,285,829	-34,217	-31,346
(2)無収水量	60,784	585,243	550,200	581,121	35,043	4,122
2 無効水量	30,806	608,616	654,880	781,924	-46,264	-173,308
(1)漏水量	29,547	513,300	648,000	775,722	-134,700	-262,422
(2)その他無効水量	29	453	280	457	173	-4
3 有収率	87.25%	85.87%	85.81%	84.24%	0.06	1.63

※当月期の最大配水量は、2日(金)に記録した[27,466m³]です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	573,279	3	563,519	1	65	9,695	98.3%
イ 導水施設整備事業	1	17,820	1	14,860	0	0	2,960	83.4%
ウ 浄水施設整備事業	9	173,018	5	157,669	4	14,493	856	99.5%
エ 送水管整備事業	1	58,000	0	0	1	57,998	2	100.0%
オ 配給水施設整備事業	60	672,933	33	363,183	27	244,471	65,279	90.3%

※注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 9)	石越町水系 (測定戸数: 1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 2)
平均	0.57	0.39	0.48	0.57	0.52
最低	0.54	0.25	0.15	0.50	0.45
最高	0.63	0.70	0.70	0.60	0.55

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H30.2.16	<0.8	<0.8	米谷水系浄水場	H30.2.16	<0.7	<0.7
石越浄水場	H30.2.19	<0.8	<0.8	楼台水系浄水場	H30.2.16	<0.7	<0.9
大萱沢浄水場	H30.2.16	<0.8	<0.7	合の木浄水場	H30.2.16	<0.6	<0.9
米川水系浄水場	H30.2.16	<0.7	<0.6	大綱木浄水場	H30.2.16	<0.7	<0.6
錦織水系浄水場	H30.2.16	<0.7	<0.7	—	—	—	—

特 記 事 項

1 包括的委託業務発注者評価を実施

平成28年度から5年の期間で委託契約した包括的業務の発注者評価を27日(火)に実施しました。午前中に「浄水施設等管理運転業務、受託者: 明電舎・アイケーエス共同企業体」、午後から「配水施設等維持管理業務、受託者: 登米市管工事業協同組合・フジ地中情報(株)共同企業体」を実施しました。評価は、委託仕様書に基づき、業務実施体制・業務実施状況・個人情報保護体制・災害等緊急時危機管理体制・その他業務委託に係る提案について実施状況を確認しました。3月26日・27日には外部委員による評価を実施する予定です。評価を踏まえ、今後改善が必要な項目については改善策を早急に策定し、より充実した業務委託による「安全・安定・安心」な水道事業を目指します。

2 第8回田瀬ダム水質検討会に出席

2日(金)、盛岡市を会場に、東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所主催の第8回田瀬ダム水質検討会へ北上川流域関係団体として出席しました。
会議は、「アオコ発生状況とこれまでの対応」、「平成29年度貯水地監視結果」、「水質保全対策施設の効果検証」、「アオコ・カビ臭発生リスクの検証」、「田瀬ダム水質管理計画(案)」について検討が行われました。今後とも流域関係団体間で情報を共有化し、更なる連携を図り対応していくことを再確認し閉会しました。

3 下り松取水ポンプ場の3号ポンプ・4号ポンプ設置完了



19日(月)下り松ポンプ場機械電気設備工事の本設ポンプ3号・4号の設置が完了し現場確認を行いました。
既設取水ポンプと2台の仮設ポンプを併用しながらの交換工事のため、2台ずつの設置となります。
21日(水)に国土交通省の検査を受け本稼動となりました。
左の写真は新旧のポンプです。
本設ポンプ1号・2号は3月22日(木)に国土交通省の検査を受検し本稼動となる予定です。

4 寒波による凍結保損事故の状況報告

1月中旬から2月中旬にかけての寒波による凍結被害が多発しました。
代表的な事故は次の通りです。1月24日東和町米谷水系浄水場で配水管が破裂、1月25日津山町柳津地内で民地宅地内配管の凍結による漏水が多発、2月5日石越町南郷小高地内で水管橋が破裂。など配給水管の凍結や破裂が数多く発生しました。発見が早かった事が幸いし大規模な断水に至っていません。
市民が管理する箇所では、2月の検針結果から約110件の漏水の疑いが確認されています。また、管工事業協同組合加入の工事店からの報告では、凍結による漏水修理依頼の件数は1月467件・2月277件となっています。浄水場から異常流量の報告を受け現場調査を行っておりますが、関係機関と連携をとり早期発見、早急な修理に努めます。

5 平成30年2月の漏水調査結果について

2月末の漏水調査の結果77件124,586m³/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85.8%を目標に調査を実施します。

6 地震発生状況

平成29年9月27日(水)以来、登米市内における震度4以上の地震は発生していません。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
	配水管	35	65.390
	付属施設	2	0.020
	給水管	40	59.176
	計	77	124.586